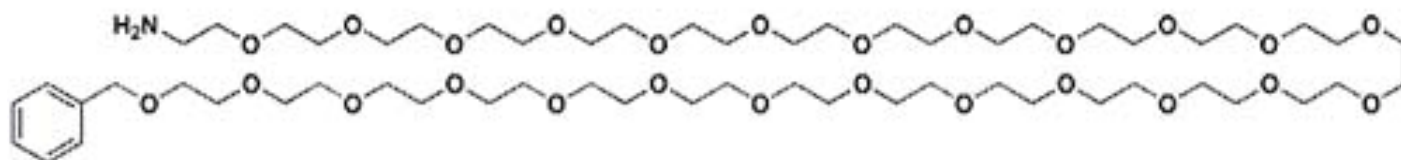


2022年度 「そうだったのか！！バイオの世界」 2022年5月20日

第2回 テーマ:「バイオ医薬品が切り開く新しい医療」

ーインスリン・分子標的抗がん剤・認知症治療薬ー

講師：長浜バイオ大学 長谷川 慎 教授



【ひとこと感想】ありがとうございました。一部抜粋したものもあります。ご了承ください。

■興味深い話でした。日本のバイオ研究これからも期待しています。一番苦手な分野ですが、糖尿病、がん、アルツハイマー病等、最も気になる病気です。ちょっとだけ原因がつかめたような気がします。(72歳 女性)

■本日は薬学、バイオ医薬品等々、私の夢である講義で大変楽しかったです。研究をするのが私の一生の夢です。(父が阪大薬学部卒の薬剤師でした) DNAを受け継いだつもりでしたが……本当にありがとうございました。来月も楽しみにしています。

■バイオ医薬全容のアウトラインが分かりました。興味のある部分を掘り下げていきたいと思います。(70歳 男性)

■日常では接することがない薬の詳しい内容を聞くことができ、とても勉強になり楽しかったです。(72歳 女性)

■医療の世界はここまで進んできたのだと感動した。心配は日本の医療である。日本ではコロナワクチンができたとも薬ができたとも聞かない。日進月歩で進んでいる医療の世界に旧態に固執しているように思える。経済界、政界は太刀打ちできるのであろうか。彼らに勇気を出して研究者を育てろと言いたい。(74歳 女性)

■はじめにいくつかの単語が無理解で、以後理系的展開が理解できず、不透明。(76歳 男性)

■バイオ医薬品がタンパク質からつくられていたとは！(73歳 男性)

■バイオ医薬品というものが、どんなものかが明確になりました。(73歳 女性)

■全てのガンに対して抗がん剤ができれば手術をしなくてガンが治療できると思うと、希望が広がります。目先のことにとらわれることが多く、長い視点でみられない日本の社会になっているのではと不安です。(72歳 女性)

■バイオ医薬品の開発を非常に解りやすく理解しやすかったです。今後も科学の基礎も教えていただきたい。(78歳 男性)

■抗がん剤のメカニズムがよくわかった。分かりやすく面白い講義でした。(70歳 男性)

■医薬品の進化がどのようにすすんでいるのかが分かりました。我が家にもガン患者がおります。新しい治療にめぐり合える日を祈り講義を聞かせて頂きました。(84歳 女性)

■ここ数十年のバイオ医学の発達に感動しました。興味深く受講させてもらいました。糖尿病が増えていったときに、ヒトシリが大腸菌を使って作れるようになって、大変よかったですと思えました。(70歳 女性)

■今まで自分の周りはアルツハイマーにかかった人がいなかったの、あまり気にしていなかったのですが、母がアルツハイマーにかかって気になり始めました。まだまだ許可されないと思いますが、希望が見えてきました。(72歳 女性)

■身近な問題やテーマを分かりやすい図や写真等を使って説明していただき、分かりやすかったです。勉強になりました。(女性)

■痛覚のない動物がいる！びっくりしました。痛みがない！人間にとってはうらやましいですね。がん抑制遺伝子の数が多いためとのこと。納得です。新しい治療法、抗体医薬……期待しています。(74歳 女性)

■丁寧で分かりやすい説明ありがとうございました。仕事でストレスがたまり、甘い物を食べがちですが、将来糖尿病にならないよう気を付けたいと思います。研究者の方々のおかげで病気回復の可能性が高くなり有難く思っています。これからもいろいろな研究を期待しています。(54歳 女性)

■初めて受けた講義でしたが、素晴らしかった。聞いたこと全て質問なしに説明していただいたので、よくわかり学習することができました。まだまだ先生の講義を聞きたいと思いました。(77歳 女性)

■バイオ研究の貴重なお話をありがとうございました。特にバイオストーリーは身近な内容で興味深く拝聴いたしました。(89歳 男性)

《ひとことメモ》バイオ医薬品による治療の例

- 糖尿病治療 インスリン不足を補う様々なインスリン製剤など
- 貧血治療 エリスロポエチン不足を補う様々なエリスロポエチン製剤など
- がん治療 がんの増殖に関係する分子に働く様々な抗体など